

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公表番号】特表 2003-525002 (P2003-525002A)

【公表日】平成 15 年 8 月 19 日 (2003.8.19)

【出願番号】特願 2000-617547 (P2000-617547)

【国際特許分類】

H 0 2 K 11/00 (2006.01)

H 0 2 K 5/16 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 11/00 L

H 0 2 K 5/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 28 日 (2005.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 回転機械 (3 0 0 , 3 1 4) の軸電圧を検出する少なくとも 1 つの電圧センサと、
前記軸電圧の変化率を明らかにする変化検出器 (3 0 6 , 3 0 8 ; 5 0 4 , 5 0 6) と

リアルタイムの前記軸電圧値を時間に対して圧縮するデータ集約のためのサンプリング装置と、

前記軸電圧の変化率の関数として警報を発する評価システム (3 2 4 ; 5 2 4) と、を
 含む、

その警報は、回転機械で進行中の問題の表示である、回転機械用モニタ。

【請求項 2】 回転機械 (3 0 0 , 3 1 4) の軸接地電流を検出する少なくとも 1 つの電流センサと、

軸接地電流の変化率を明らかにする変化検出器と、

前記軸接地電流の変化と、平均軸接地電流と、当該平均軸接地電流に対する前記軸接地電流の最大値の比率との関数として警報を発する評価システム (3 2 4 ; 5 2 4) と、を
 含む、

その警報は、回転機械で進行中の問題の表示である、回転機械用モニタ。

【請求項 3】 前記変化検出器は、前記軸電圧の 1 次導関数を決定する、請求項 1 に記載のモニタ。

【請求項 4】 変化検出器は、軸接地電流の 1 次導関数を決定する、請求項 2 に記載のモニタ。

【請求項 5】 その警報は、さらに波形周波数の関数である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載のモニタ。

【請求項 6】 その警報は、さらに回転子周波数の関数である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載のモニタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

発明の要約

本発明の一の態様は、回転機械について問題が進行中であることを示す警告を発する回転機械モニタである。回転機械モニタは、回転機械の軸電圧を検出する少なくとも一つの電圧センサと、軸電圧における変化率を明らかにする変化検出器と、リアルタイムの軸電圧値を時間に対して圧縮するデータ集約のためのサンプリング装置と、軸電圧の変化率の関数として警告を発するための評価システムと、を有する。

本発明の他の態様は、回転機械について問題が進行中であることを示す警告を発する回転機械モニタである。回転機械モニタは、回転機械の軸接地電流を検出する少なくとも一つの電流センサと、軸接地電流における変化率を明らかにする変化検出器と、前記軸接地電流の変化と、平均軸接地電流と、当該平均軸接地電流に対する前記軸接地電流の最大値の比率との関数として警告を発するための評価システムと、を有する。